29

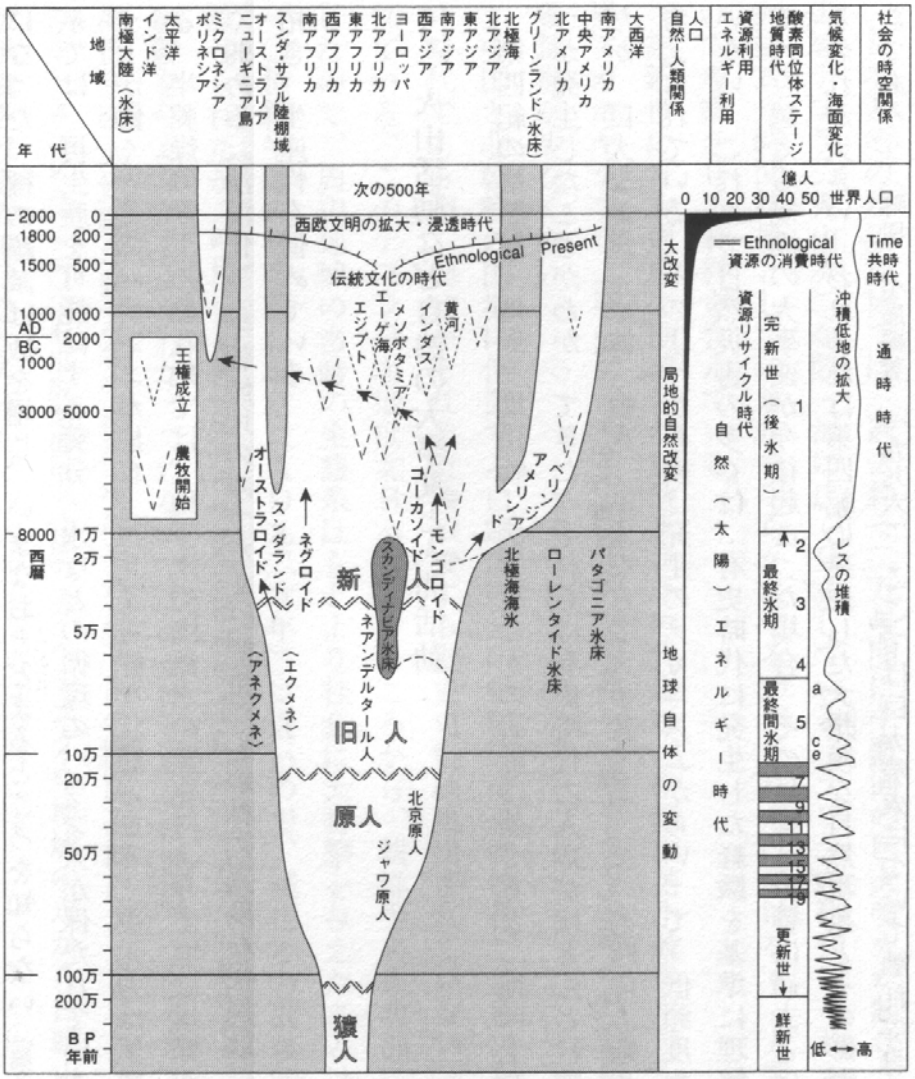

図7　人類史と自然史の時間・空間ダイアグラム（貝塚，1997）

「地球史が語る近未来の環境」

30

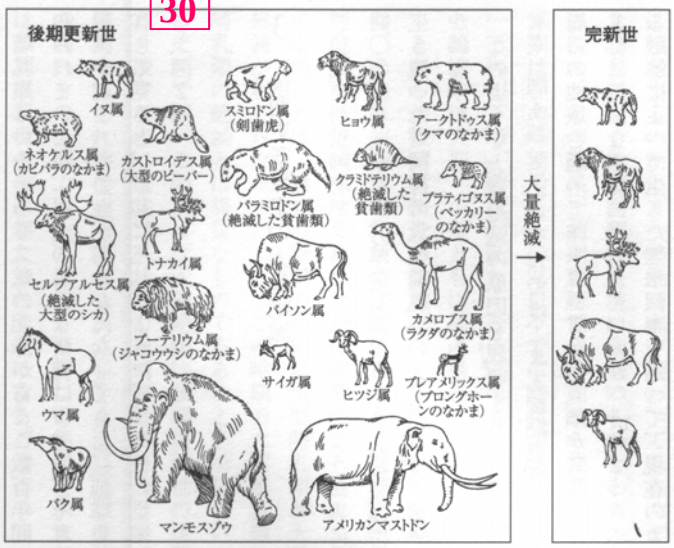

図3　北アメリカの後期更新世と完新世の大型哺乳類（大型哺乳類の図は Thenius, 1980 による）
これらの時代の間に大量絶滅が起こった。

31

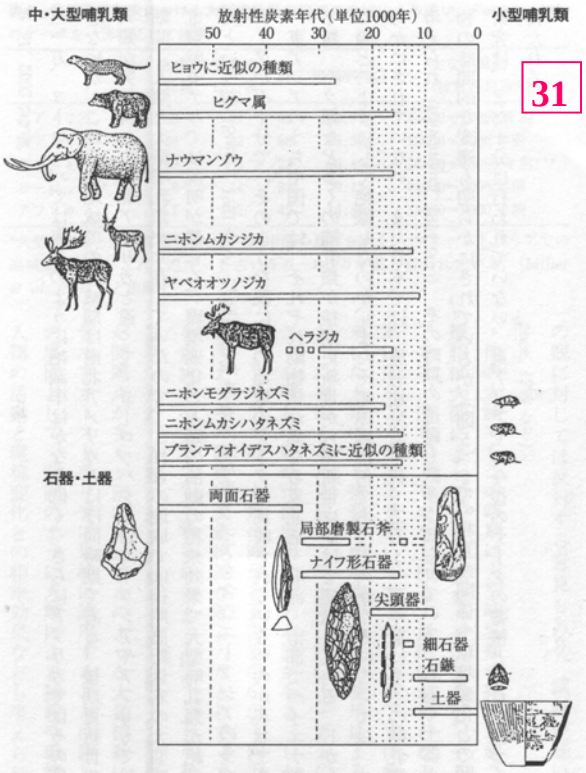

図5　本州・四国・九州地域での後期更新世末の哺乳類の絶滅期と考古遺物の変遷（河村・中越，1997 による）
哺乳類の絶滅期は放射性炭素年代で 2 万～1 万年前と推定され，その時期に石器の変化や土器の出現が見られるが，まだデータが不十分である。